

かくらの

サンライズNEWS 第35号



日の出町平井1085-5 TEL・FAX042-597-5698

E-mail: kakura@at.wakwak.com

<http://www.e-giin.net/kakura>

2012年新春号

公明党西多摩総支部発行

ご挨拶

日頃より私の議会活動にご理解、ご協力を賜り心より御礼と感謝を申し上げます。

昨年は東日本大震災、福島第一原発事故

相次ぐ台風災害等、日本が未だ経験したことが無い自然災害を被った一年でありました。

依然として三十数万人の方々が避難生活をされています。一刻も早い復旧、復興を達成するように

強く現政権に望むものです。

しかしながら、現民主政権はマニフェストが

総崩れ、公約違反のオンパレード、もはや政権としての体はなしておらず、復旧、復興対策にして

も後手に回る始末、国の根幹たる外交安全保障

のずさんさ、政治と金の問題、経済対策の遅れ等

これ以上放置するわけにはまいりません。

国民に信を問うのが筋であります。

私は都と国会との連携を図り日の出町民の安全、

安心、町のさらなる振興発展のため

体当たりで突き進んでまいります。

「指導」鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます



2012年1月6日公明党都本部賀詞交歓会にて

復興元年に向け、勇躍前進

公明党全国代表者会議議長

太田あきひろ氏は第46回衆議院選

第一次公認に決定(東京12区)

かくら治の一般質問の要旨2011年12月13日



1、平成24年度予算編成と将来展望について

Q 平成24年度予算編成概要について、基本姿勢、主眼点、特に「皆でつくろう日の出町」協働の町づくりの具体的方策は？

A 税収は引き続き減収が見込まれるうえ、地域振興費の減、各種基金を活用しても財源確保は厳しい状況である。「ニュー5大作戦」を推進するため事業全般にわたり聖域なく見直しを図るとともに人件費の削減にも努める。

Q 日の出町が誇る各種福祉施策を今後どう維持し充実させていくか、財源の確保と事務事業の大胆な見直しを視野に入れるべきでは？

A 各種福祉施策を推進するためにも、限られた予算枠内で、ご指摘のように大胆な見直しを進めていく。

Q 行財政運営と住民ニーズに欠かすことができない手段として「行政評価制度」を充実させることにあります。今後の方策は？

A 第4次長期総合計画のなかでの実績をふまえ改正し、レベルアップを図ってまいりたい。

〈私の直言〉現在、地方行財政運営は昨今の時代背景を受け厳しさを増しています。「今回聖域なく大胆に見直しを図るとの町長の言」確実に実施できるよう私も責任をもって推進いたします。

2安全、安心の町づくりを

Q 近年、自転車事故が大きな社会問題となっています。町内においても事故報告があり、学校での自転車運転安全講習以外に安全運転マナーを町民全体にも意識啓発を行うべきでは？

A 町は自治会回覧や、窓口、イベントでのパンフレット等の配布により、交通安全の広報活動を行い今後も警察、交通安全協会と連携して普及啓発を図ってまいります。

Q 年次計画を立てて防犯灯、街路灯をLED化に推進するとともに、避難誘導灯は太陽光蓄電を利用したものを設置するなどエコと安全の町づくりにシフトしていくべきでは？

A、街路灯等のLED化推進は今後、補助金を活用し計画的に整備検討したい。避難誘導灯は官民協働事業として実施してるところもある。設置に必要な広告事業者が見込めたとき具体的に検討してまいりたい。

Q モデルケースとして藤谷街道に自転車専用レーンを開設したらどうか？

A 自転車専用レーンは警察署と都の協議が必要なので検討させて頂きたい。



この度平成23年12月20日、阿伎留病院組合議会が開催され、私は当組合議会の副議長の任を受けました。地域医療の充実と健全運営の強化に努めてまいります。

皆様の声を実現しました

本宿小南側油田地区は白線引き2011年12月



この地域はたびたび自動車の脱輪事故が発生していました。側溝に落ちないように白線を引きましたが今年度中には蓋をすする予定になっています。もうしばらくご注意ください。いつでも安全運転を！

セットバック部分舗装整備、平井3000番台付近(12月)



町では舗装大作戦を予算の範囲内で極力実施しておりますが、まだまだこのような箇所があるようです。また、依然として都道、町道は台風シーズンに、冠水等の被害が絶えません。

引き続き安全で快適な生活確保のため奔走してまいります。

二元代表制の確立のため 日の出町議会、議会改革特別委員会が設立

12月1日議会定例会初日に全会一致で可決成立いたしました。私は副委員長の立場で二年間、任につくことになりました。*議員定数削減*議会基本条例の制定*出前議会の開催*開かれた議会のための様々な情報発信、ネットでの動画配信等*、今後議会改革全般にわたり審議してまいります。町民の皆様からのご意見ご要望を私自身参考にしたいと考えております。ご協力の程宜しくお願い致します。

公明の主張が随所に反映

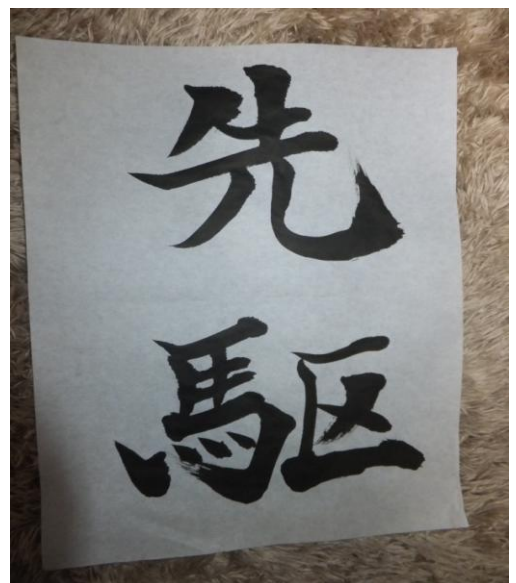
総額12,1兆円がようやく成立。民主党政権の怠慢で国会提出が遅れたものの、公明党の提言や主張が随所に反映されました。正に国民本位、生活現場主義に徹して勝ち取りました。

震災復興特別交付税	1兆6635億円	(地方交付税の加算、地方負担をゼロにし全額国庫負担に)
東日本大震災復興交付金	1兆5612億円	(地域再生に向け高台移転、土地区画整理等に対する補助)
公共事業の追加	1兆4734億円	(道路や河川、海岸、漁港、農地などの復旧、学校、研究施設の整備)
災害関連融資関係	6716億円	(中小企業や農林漁業等の事業再建、経営安定のための融資)
原子力災害復興関係	3558億円	(除染に要する経費、福島県原子力災害対応、復興基金の創設)
災害廃棄物(がれき)処理	3860億円	(発生がれき推計2490トン)
全国防災対策	5752億円	(学校の耐震化、防災対策などの公共事業)
その他の対策	2兆4631億円	(復興住宅融資、住宅エコポイント、被災者の雇用創出、生産拠点の確保)

復興元年との決意で新春街頭遊説



本年の活動方針



暮らしに役立つ公明新聞 一か月日刊で1835円、是非お試しを

お陰さまで創刊50周年 ご連絡は 042-597-5698 かくらまで